

令和4年度を迎えて

校長 見目 茂則



相模原養護学校に着任して2年目を迎えましたが、既にコロナ禍は3年目を迎えています。つい数年前までは、こうした世界規模の社会状況を考えることさえありませんでした。懸念される大きな自然災害を含め、今後の不透明な時代を乗り越えていくためには、私たち教職員一人ひとりの考え方に、より一層の柔軟性、協調性、主体性が必須になるのではと思います。

さて、令和4年度入学生から高等学校等の新学習指導要領が年次進行で実施しています。そのスタートを契機に文部科学大臣メッセージが出されています(文科省のHP参照)。一部文章を引用しますが、「生徒達が、その能力・適性、興味関心等に応じた学びを通じて、多様な他者と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、……。一人ひとりの生徒を主語とした高等学校教育の実現に向けて、……」と、強い思いが込められた内容となっています。想定を上回る甚大な自然災害、地域紛争による世界的な影響、など急激に変化する社会を生きていく子どもたちに必要なものは、間違いなく教育であると考えています。将来の社会を担っていく子どもたちが、混迷する社会を生き抜くための力を身につけ、自分らしい姿を実現していくための準備期間として、学校での学びがあります。私たち教職員は、子どもたち一人ひとりのニーズに合わせた学びと、地域の人材や機関等との協動的な学びの一体的な充実を通じて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた不断の授業改善に取り組んでいかなければならない、と考えています。



笑顔あふれる学校づくりに励みます!!

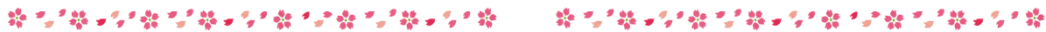
副校長 比留川 はるか



相模原養護学校の一員になり、2年目がスタートしました。昨年度私は、この学校を「知る」ことに力を入れて働きました。子どもたちや保護者の皆様、教職員や地域のことを知って、この学校の良い所をたくさん見つけました。一番に誇れるのは、元気な挨拶を交わす学校だということです。廊下ですれ違う時には、お互いに挨拶のお辞儀をしたり、声に出して伝えたり、笑顔でアイコンタクトしたり…心がほっと温くなる瞬間が何度もあります。そういう、人と人とのコミュニケーションを大切にしている学校です。

今年度は、本校の良さや子どもたちが学んでいること、チャレンジしていることを「伝える」「広める」「発信」したいと思います。そして、子どもたちにとって学校が今まで以上に過ごしやすい、大好きな場所にすることを目指し、保護者の皆様や教職員等と協力して教育活動に取り組みたいです。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症から子どもたちを守りながら充実した学校生活が送れるように教職員全員で努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



相模原養護学校へ再び!

教頭 藤原 英明



4月1日付で津久井養護学校から異動してまいりました、藤原と申します。私は5年前まで相模原養護学校に在籍しておりました。その頃、小学部に在学していた児童は既に、高等部で学んでおり、大きくなった生徒との再会は、タイムスリップしたような不思議な感覚でした。でも元気でいてくれて嬉しい気持ちになりました。また、私を知らない生徒からも声をかけられ、日々元気をもらっています。

校内の駐車場で咲き乱れる八重桜が美しいなどあらためて実感しました。また、校舎の高い所には「幸せの青い鳥」と呼ばれるイソヒヨドリが美しい声でさえずり、幸せの訪れを期待してその様子を眺めました。

さて、一人ひとりの児童・生徒が安心して学校に通え、毎日楽しく過ごすことができるよう、家庭と地域の連携を大切にしながら、きめの細かい対応に努めたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

相模原養護学校 LIFE



相模原養護学校では、今年度より日々の教育活動の様子や給食のメニューをホームページに更新しています。ぜひ、ホームページをご覧ください、相模原養護学校のいまを知っていただければ幸いです。



すごいね！1年生。

連日続いていた雨が上がり、晴れた桜のきれいな日にみなさんと入学式を迎えられました。入学式の日から何てラッキー！皆さんと楽しい日々が迎えられるお祝いのような気がして嬉しかったです。初めてだらけのことが続いた4月。上級生の皆さんと同じように普通の日課が始まり、初めは疲れてうとうとする子や午後はいくびの大合唱。それでも毎日休まず登校し、1年生すごいね！と言われることが多かったです。ついつい頑張りすぎてしまいますね。ゆっくりでいいですよ。みなさんのペースで成長していきましょう。

(小学部1年担任)

元気いっぱいな中学1年生！

中学部は新入生7名が入学しました。登校初日から元気いっぱいでもクラスの雰囲気も和気あいあいとしていて、新中学生としてとても良いスタートができました！新しい教室や友達にも慣れ、授業や給食など様々な時間で意欲的に活動することができ始めています。今後は学部全体での学習や作業学習など新しい学習も始まるので、クラス一丸で取り組んでいきたいと思っています。

(中学部1年担任)



新入生を 迎えて

新入生を迎えて

好天に恵まれた4月5日(火)の入学式、高等部本校では36名の新入生を迎えました。初めは緊張した面持ちで過ごしていましたが、日に日に表情が和らぎ、教室から笑い声も聞こえるようになってきました。学級活動の時間にはクラスごとに学年だよりの名前を考え、投票をして決めました。決まった名前は「未来」。輝く未来へ向かって皆で進んでいきたいと思っています。

投票をして決めました。決まった名前は「未来」。輝く未来へ向かって皆で進んでいきたいと思っています。

(高等部1年リーダー)



新入生を迎えて

4月5日(火)、分教室1年生15名が入学し、分教室は全員で42名となりました。分教室1年生の教室や廊下は、2・3年生が制作した入学を祝う飾りで華やかに装飾され、1年生も温かい気持ちになりました。15日(金)には新入生歓迎会が行われ、3学年が集まり、親睦を深め、楽しい時間を過ごしました。1年生同士の関わりも増え、休み時間にはカードゲームをしたり、共通の趣味の話をしたりする姿が見られています。

(分教室1年担任)



今年度も月・火・金曜日の登下校時、「ボランティアセンターあさみぞ」の皆さんに「養護学校入口」信号のところで、生徒たちが安全に道路を横断できるように見守りしていただいています。地域の皆さんにも支えられ、教育活動に取り組めることに感謝しております。なお、右の写真は、麻溝公民館に掲示していただいている昨年度の交流でお渡しした生徒からボランティアのみなさんへの感謝のお手紙です。



J3 リーグの試合でボランティア活動



J3リーグの試合(SC相模原対テゲバジャーロ宮崎)が、3月26日(土)にギオンスタジアムで行われ、高等部の生徒5名がボランティアとして活動に参加しました。この活動は、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の一環として、SC相模原のメインスポンサーである株式会社ギオンとの連携事業として計画され、観戦グッズの配布や、フラッグベアラーの活動を行いました。まず最初に、多くのサポーターが並ぶ中、ギオンの社員の皆さんと一緒に観戦グッズの配布を行いました。最初は緊張していましたが、社員の皆さんの笑顔でやさしく接する姿に、安心して活動に取り組むことができました。またフラッグベアラーでは、多くの観客を前にチームフラッグを持ち、選手を誘導してピッチに入場する大役を果たすことができました。これも学校で練習したり、直前にも実際の旗を使って練習したりした結果で、その姿は大型ビジョンにも投影され、多くの方に観ていただきました。コロナ禍でなかなか活動ができない状況ではありますが、初の試みとして無事終えることができました。株式会社ギオンの社員の皆様、関係者の皆様、ボランティア活動と一緒にご参加いただいた保護者の皆様、ご支援、ご協力ありがとうございました。

